

第79期中間報告書

(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

Speciality
Chemical
Partner



荒川化学工業株式会社



代表取締役社長 末村 長弘

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、第79期中間報告書(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期の国内経済は、第2四半期に入り、高騰が続いていた原油価格が調整局面を向かえたものの、原材料価格の上昇やサブプライム住宅ローン問題に端を発した金融不安および米国経済の減速などにより、企業収益が減少し、個人消費も弱含みで推移するなど、景気は停滞しました。また、世界経済は米国および欧州経済において減速が鮮明となり、中国をはじめとするアジア主要国での景気拡大も鈍化傾向となるなど、景気の後退が懸念されております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、原材料価格の上昇に対応した製品価格の改定、主力製品のシェア拡大、新規用途開発による高付加価値化、生産プロセスの合理化などによる製品コストの削減に努めてまいりました。また、水系樹脂、光硬化型樹脂、超淡色ロジンなどの環境に配慮した製品の拡販、精密部品洗浄システムや機能性ファインケミカル製品などの電子材料関連分野での販売を強化し、さらに有機・無機ハイブリッド樹脂、クリームはんだの拡大を推進してまいりました。海外におきましては、製品の拡販、中国を中心としたアジア地域の市場開拓を進めてまいりました。

その結果、当中間期の売上高は338億75百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益は14億20百万円(同2.1%減)、経常利益は15億55百万円(同5.9%減)、純利益は11億3百万円(同16.6%増)となりました。

なお、当中間期の配当金につきましては、1株につき12円50銭とさせていただきます。

第2次中期5ヵ年経営計画 キャッチフレーズ

PINE DASH 1000

「PINE」 松の木⇒ロジン、本業重視を継続し
Proactive Innovation for New Era
新しい時代へ、新機軸の先取り

「DASH」 **Dynamic Action for Shining History**
躍動、輝ける未来のために

「1000」 創業140周年(2016年度)には、
売上高1,000億円を超える姿でありたい

荒川化学グループにおきましては、さらなる発展を目指して、本年4月より第2次中期5ヵ年経営計画をスタートしております。第2次中期5ヵ年経営計画のキャッチフレーズ「PINE DASH 1000」を共通認識とし、グループ一丸となって、目標の達成と次なる飛躍へ挑戦しております。

この経営計画におきましては、第1次中期5ヵ年経営計画

で築いた基盤をより強固なものとし、企業価値の向上を目指すために、4つの基本方針を掲げております。

1. 基盤事業(製紙用薬品事業・化成品事業)のさらなる拡大
2. 伸長事業(機能材料事業・光電子材料事業)の拡大
3. 新規事業・新技術の創生
4. 経営・事業基盤の整備と強化

この基本方針に基づき、基盤事業におきましては、拡大を続ける中国市場での事業展開を推進するため、中国広西壮族自治区梧州市に新たな工業用樹脂の生産拠点を設立することを決定し、平成22年中頃までの立ち上げを目指しております。顧客ニーズに的確に応えた粘着・接着剤用樹脂の供給を通し、中国産業の発展に寄与するため、中国内の関係会社との連携をはかりながら万全の体制で計画を推進してまいります。

景気の後退が懸念され、ロジンや石油化学関連原料の価格動向も依然として不透明ではありますが、第2次中期5ヵ年経営計画で掲げた基本方針に基づく施策を着実に実行することにより、荒川化学グループの企業価値向上に全社一丸となって全力で取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆様へ…………… 1・2

What is ROSIN?

ロジンがネバナバをつくりだす…………… 3・4

事業の概況…………… 5・6

連結財務諸表…………… 7・8

Information

日経IRフェアにブースを出展しました…………… 9

会社概要/株式の状況…………… 10

ロジンがネバネバをつくりだす

粘着テープや接着剤のネバネバ（粘着付与）をつくりだす上で、ロジンを原料にした樹脂が役立っています。

樹脂の配合量によって、粘度を下げた使いやすいものや、接着力をアップしたくっつきやすいものにできるのです。



粘着・接着剤

靴底も、接着剤で、しっかり固定されています。

くっつける

本の背表紙にも

ページを接着剤でくっつけて製本されています。皆様の身近なところでロジンは役立っています。



粘着テープ

いろいろなテープにもロジンを原料とした樹脂が使われています。

はりつける



荒川化学はロジンと歩んで130余年

荒川化学は、明治9年の創業以来、130余年におよぶ永きにわたり「ロジン」を原料とするパインケミカルズ（松脂関連化学製品）分野のバイオニアとして地位を確立してまいりました。例えば、紙のにじみ止め薬品、印刷インキ用樹脂、粘着・接着剤用樹脂などを開発し、日本の産業の発展に大きく貢献してまいりました。

これからもロジンとともに社会貢献

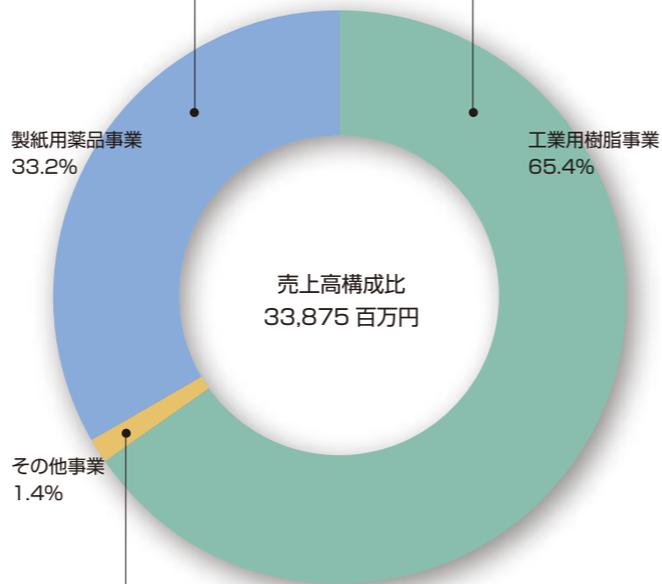
地球環境への関心が社会で高まる中、荒川化学は、ロジンという自然の恵みを生かした事業をおこなう企業としての社会的責任も大きくなっていると考えております。そのため、地球環境に優しい製品の研究や開発に引き続き取り組んでまいります。併せて、お客様の多様なご要望にお応えできる生産・販売体制のいっそうの充実に注力してまいります。

製紙用薬品事業



国内製紙業界は、紙の需要に減速傾向が見られ、やや低調に推移しました。また、中国製紙業界では、紙の需要拡大は続いているものの、減速傾向にあります。このような環境のもと、当事業におきましては、中国および台湾のユーザーにおいて紙力増強剤の使用量が減少し、売上も低調に推移しました。利益面では、原材料価格高騰による収益性の低下が継続していることに加え、海外子会社での売上が低調に推移し、減益となりました。

その結果、売上高は112億52百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は3億67百万円（同44.5%減）となりました。



工業用樹脂事業



国内の印刷インキ、塗料、粘着・接着剤業界はやや低調に推移しました。また、電子工業業界は、総じて伸び悩みました。このような環境のもと、当事業におきましては、光硬化型樹脂、オフセットインキ用樹脂、粘着・接着剤用樹脂、超淡色ロジン、電子材料用配合製品および機能性ファインケミカル製品の売上が堅調に推移しました。しかしながら、一部の海外子会社では売上が低調に推移しました。利益面では、原材料価格高騰による収益性の低下が継続しているものの、光硬化型樹脂や電子材料用配合製品などの高付加価値製品の拡販により、増益となりました。

その結果、売上高は221億65百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は10億10百万円（同33.3%増）となりました。

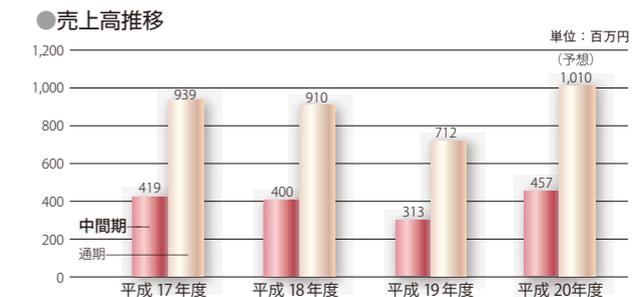


その他事業



洗浄機械の売上が増加し、増収増益となりました。

その結果、売上高は4億57百万円（前年同期比45.6%増）、営業利益は42百万円（同40.4%増）となりました。

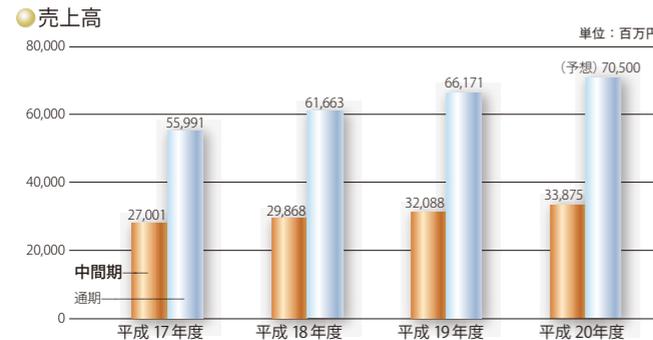


(注) 1. 第2四半期連結累計期間を中間期と読み替えております。
2. 過年度の中間期業績数値は、四半期会計基準に則したのではなく、便宜上の比較対象として掲載した参考数値であります。

連結貸借対照表

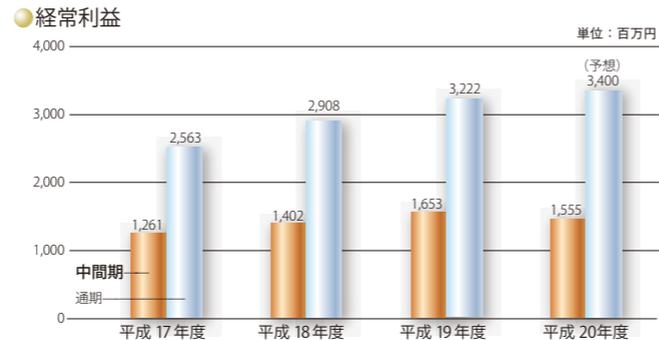
科目	前中間期 (19.9.30 現在)	当中間期 (20.9.30 現在)	前期 (20.3.31 現在)
【資産の部】			
流動資産	39,008	40,169	39,977
現金及び預金	2,316	3,969	3,981
受取手形及び売掛金	26,303	24,996	24,341
たな卸資産	9,235	10,058	10,613
その他	1,270	1,263	1,157
貸倒引当金	△ 118	△ 116	△ 116
固定資産	26,378	24,053	24,821
有形固定資産	19,163	18,491	18,799
建物及び構築物	7,244	6,852	6,954
機械装置及び運搬具	5,850	5,204	5,519
土地	5,241	5,271	5,235
その他	826	1,162	1,089
無形固定資産	713	526	667
投資その他の資産	6,501	5,035	5,354
投資有価証券	5,793	4,332	4,678
その他	724	714	688
貸倒引当金	△ 17	△ 11	△ 11
資産合計	65,386	64,223	64,799

業績の推移



(単位：百万円)

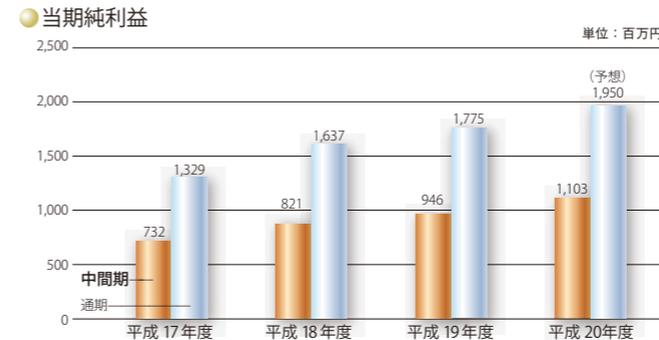
科目	前中間期 (19.9.30 現在)	当中間期 (20.9.30 現在)	前期 (20.3.31 現在)
【負債の部】			
流動負債	23,946	23,662	24,545
支払手形及び買掛金	12,327	12,013	12,171
短期借入金	7,460	7,520	7,601
その他	4,158	4,129	4,772
固定負債	3,667	2,906	3,234
長期借入金	703	481	673
退職給付引当金	1,993	2,027	2,015
その他	970	397	544
負債合計	27,613	26,568	27,779
【純資産の部】			
株主資本	33,858	35,287	34,445
資本金	3,128	3,128	3,128
資本剰余金	3,350	3,350	3,350
利益剰余金	27,389	28,819	27,977
自己株式	△ 9	△ 10	△ 10
評価・換算差額等	2,180	967	1,193
その他有価証券評価差額金	1,621	717	926
為替換算調整勘定	558	250	266
少数株主持分	1,734	1,339	1,380
純資産合計	37,772	37,654	37,019
負債純資産合計	65,386	64,223	64,799



連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前中間期 (19.4.1 から 19.9.30 まで)	当中間期 (20.4.1 から 20.9.30 まで)	前期 (19.4.1 から 20.3.31 まで)
売上高	32,088	33,875	66,171
売上原価	25,605	27,042	52,921
売上総利益	6,482	6,833	13,250
販売費及び一般管理費	5,032	5,413	10,218
営業利益	1,450	1,420	3,031
営業外収益	352	303	596
営業外費用	149	167	404
経常利益	1,653	1,555	3,222
特別利益	3	283	6
特別損失	148	15	161
税金等調整前中間(当期)純利益	1,508	1,823	3,068
法人税、住民税及び事業税	381	663	1,129
法人税等調整額	130	34	94
少数株主利益	50	22	68
中間(当期)純利益	946	1,103	1,775

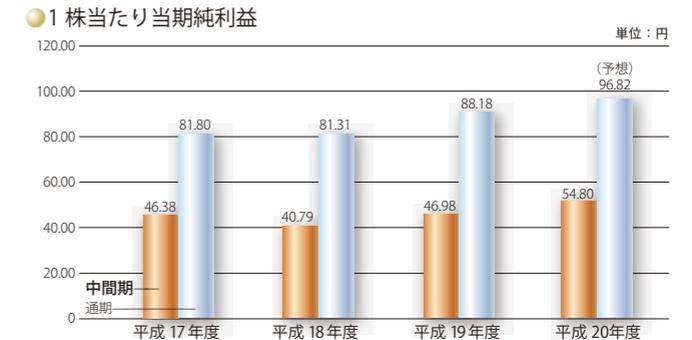


連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前中間期 (19.4.1 から 19.9.30 まで)	当中間期 (20.4.1 から 20.9.30 まで)	前期 (19.4.1 から 20.3.31 まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,199	1,640	5,727
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,274	△ 1,099	△ 2,006
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,120	△ 576	△ 2,183
現金及び現金同等物に係る換算差額	33	△ 8	△ 22
現金及び現金同等物の増加額(△は減少額)	△ 161	△ 44	1,514
現金及び現金同等物の期首残高	2,396	3,911	2,396
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	2,234	3,866	3,911

(注) 1. 第2四半期連結累計期間を中間期と読み替えております。
2. 過年度の中間期業績数値は、四半期会計基準に則したのではなく、便宜上の比較対象として掲載した参考数値であります。



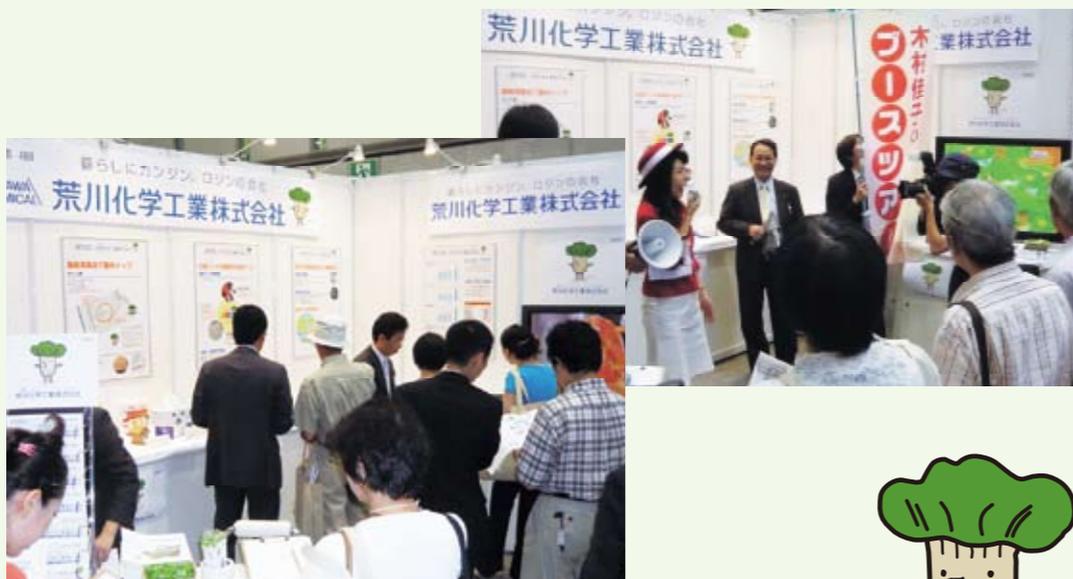
(注) 平成18年4月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割をおこなっております。

日経IRフェアにブースを出展しました

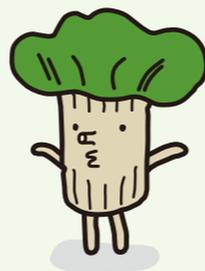
8月22日と23日、東京ビッグサイトにて「日経IRフェア2008 STOCKWORLD」が開催されました。当社のブースも入口でマツタロウCMを放映して来場者の関心を誘い、盛況でした。

ブース内には、ロジンのサンプルのほか、当社の製品が使用されている粘着テープなどの最終商品を展示したところ、お越しいただいた多くの方々から、「よく理解できた」「事業内容がわかった」「ロジンのことがわかった」など、大変励みになるご感想をいただきました。ご来場いただいた方々に御礼申し上げます。

当社について一人でも多くの方にご理解いただけるよう、引き続きIR活動に力を入れてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。



にぎわう当社ブース



会社概要 (平成20年9月30日現在)

商号	荒川化学工業株式会社
創業	明治9年(1876年)
設立	昭和6年1月(1931年)
資本金	31億2,830万円
グループ従業員	1,208名
主な事業内容	次の製品の製造および販売 製紙用薬品、印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂、 合成ゴム重合用乳化剤、粘着・接着剤用樹脂、 食品添加物用樹脂、電子材料用樹脂、 精密部品洗浄システムおよびその関連機器
ホームページアドレス	http://www.arakawachem.co.jp

役員 (平成20年9月30日現在)

代表取締役社長	末村 長 弘
常務取締役	草野 侗
常務取締役	中尾 光 良
取締役	松本 圭 三
取締役	三谷 育 洋
取締役	河村 敏 嗣
取締役	谷 奥 勝 三
取締役	荒川 壽 正
取締役	真鍋 好 輝
取締役	延 廣 徹
監査役(常勤)	山中 勝 之
監査役(常勤)	蒔田 宗 治
監査役	岩城 本 臣
監査役	中西 隆 夫

(注) 監査役岩城本臣および中西隆夫の両氏は、社外監査役であります。

株式の状況 (平成20年9月30日現在)

発行可能株式総数	52,800,000 株	
発行済株式の総数	20,150,400 株	
株主数	3,368 名	
大株主		
株主名	持株数	出資比率
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,192 千株	5.92%
荒川化学従業員持株会	961	4.77
株式会社三菱東京UFJ銀行	940	4.67
荒川壽正	913	4.53
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	913	4.53
荒川彦二	420	2.09
三菱化学株式会社	406	2.02
株式会社みずほ銀行	397	1.97
株式会社三井住友銀行	396	1.97
高橋忍	360	1.79

グループ会社の状況 (平成20年9月30日現在)

会社名	資本金	議決権比率
南通荒川化学工業有限公司	5,500千米ドル	100%
梧州荒川化学工業有限公司	3,500千米ドル	100%
ペルノックス株式会社	60百万円	100%
高圧化学工業株式会社	60百万円	100%
広西荒川化学工業有限公司	12,000千米ドル	80%
台湾荒川化学工業股份有限公司	149,226千新台幣元	60%
ARAKAWA CHEMICAL(USA) INC.	1,400千米ドル	100%
カクタマサービス株式会社	100百万円	100%
HONG KONG ARAKAWA CHEMICAL LTD.	4,000千米ドル	60%
廈門荒川化学工業有限公司	5,603千米ドル	間接60%
ARAKAWA CHEMICAL(THAILAND) LTD.	119,000千タイバツ	50%
ARAKAWA Europe GmbH	52千ユーロ	40%

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日
公告方法	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	大阪市北区堂島浜1丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店

株式関係のお手続き用紙のご請求は、
次の三菱UFJ信託銀行の電話および
ホームページでも24時間承っております。
電話 (通話料無料)
0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪証券代行部)
ホームページアドレス
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

荒川化学工業株式会社

大阪市中央区平野町1丁目3番7号 〒541-0046
電話 06-6209-8500(代表)



地球に優しい大豆インクと再生紙を使用しております。
このSOY INK マークは米国大豆協会承認マークです。